

## 実 績 報 告 書

1 事業者名	NPO 法人マナビエル
2 事業名	原稿用紙に書かない！？お笑い芸人×話す作文ワークショップ
3 実施期間	令和5年10月8日～令和5年12月17日
4 実施場所等	浜田山会館、高円寺北区民集会所
5 対象年齢・参加人数	参加人数 66 名（小4:18 人, 小5:21 人, 小6:10 人, 中学生:17 人） 募集人数 96 名、申し込み人数 119 名
6 参加費	有料（500円）
7 内容	<p>「作文」がことばで自分を伝える場であることを知り、苦手意識を減らすことを目的に、「ラフサクブン」と題したワークショップを全6回実施した。</p> <p>参加者の視点を広げ、多様な表現を楽しみ受け入れあうために、吉本興業所属のお笑い芸人である佐藤ピリオド. 氏を講師として招き、企画から当日の進行までスタッフと共に参加していただいた。</p> <p>●事業実施準備開始日 4月24日（補助金交付決定通知を受理）</p> <p>●企画ミーティング（毎回スタッフ5名+芸人1名が参加） 6/5, 8/28, 9/26, 10/23, 11/16, 12/26（全6回）</p> <p>●当日プログラム</p> <p>毎回、①やわらかあたまワーク、②空色ことばワーク、③ラフワークの順でプログラムを実施。各ワークにはサブテーマを設定した。それぞれの内容は以下のとおり。</p> <p>① やわらかあたまワーク お笑い芸人（吉本興業・佐藤ピリオド. 氏）と、多様な表現や視点を楽しみながら言葉にする。 サブテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四字熟語：日常生活で起こるできごとを四字熟語にしてみる。</li> <li>・あるある：環境によくないけれどついやってしまう日常の行為を掘り起こす。</li> <li>・てにをは：映画や漫画のタイトルの助詞を変えて遊んでみる。</li> </ul> <p>② 空色ことばワーク テーマに沿ったオリジナルワーク教材を使って、自分の意見や感情を言</p>

	<p>語化する。</p> <p>サブテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WILL のある街：自分の住む街がどんな風になったらいいかアイデアを出す。</li> <li>・STOP 環境問題：環境のために、自分や自分の街が何ができるか考える。</li> <li>・文化を紹介：誰もが知っている映画や漫画をもとに視点を変えて、自分だけのタイトルとそのオリジナルストーリーを作る。</li> <li>・強みを言葉に：自分の強みを発見する。</li> </ul> <p>③ ラフワーク</p> <p>グループでワークシートを使って台本を仕上げ、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことをセリフに変え、グループで文章にし整える。</li> <li>・「役を演じてお笑い芸人さんと掛け合いをしながら」グループごとに発表する。</li> </ul> <p>●各回の詳細</p> <p>【1回目】10月8日（日）浜田山会館14名参加 実施プログラム（①四字熟語 ②WILL のある街 ③発表会）</p> <p>【2回目】10月22日（日）浜田山会館14名参加 実施プログラム（①あるある ②STOP 環境問題 ③子議会）</p> <p>【3回目】11月5日（日）高円寺北区民集会所11名参加 実施プログラム（①てにをは ②文化を紹介 ③マナデミー賞）</p> <p>【4回目】11月19日（日）高円寺北区民集会所10名参加 実施プログラム（①四字熟語 ②強みを言葉に ③発表会）</p> <p>【5回目】12月3日（日）高円寺北区民集会所11名参加 実施プログラム（①てにをは ②文化を紹介 ③マナデミー賞）</p> <p>【6回目】12月17日（日）高円寺北区民集会所6名参加 実施プログラム（①あるある ②STOP 環境問題 ③子議会）</p> <p>●事業終了後</p> <p>事業の様子をまとめた動画を作成し、ホームページやSNS、YouTubeに掲載した。各回終了後に都度振り返り会を実施した。参加者の声をホームページに掲載した。</p>
8 効果	<p>①やわらかあたまワーク</p> <p>はじめは表情の固かった子どもたちも、芸人さんの面白いトークや自由な発想にふれることにより徐々に緊張がほぐれ部屋に笑いが溢れた。心がほぐれることにより、枠にとらわれない自由な発想が出てきた。子どもたちは自分が書いた回答を、芸人さんにおもしろおかしく紹介してもらうことで、「これでいいんだ」「こんなことも書いてみよう」と前向きに安心して参加できる心の準備が整った。</p> <p>②空色ことばワーク</p>

感じたことや考えたことを丁寧に言語化する作業を通して、目に見えない心や頭の中、価値観、想像などが見える化でき、子どもたちが自分をことばにすることに少しずつ自信を持てる様子が見られた。  
また、正解のない問いに対して、枠にとらわれない自由な発想を受け入れ合う場を楽しみ、思いもよらないオリジナルの表現が生まれたことを喜び合い、「書けた！」という達成感を味わえたようだった。

### ③ラフワーク

子どもたちが空色ことばワークで言語化した自分の言葉を持ち寄り、今度はグループで伝えたいことを対話し共創する作業は、コミュニケーションの難しさ、楽しさを味わえ、刺激し合える時間になった。  
グループ内で一人一人役割を持って発表することにより、子どもたちがそれぞれの強みを発揮しあう協働の心と、伝えたいことを伝えようと思う前向きな姿勢を見せてくれた。  
また、他のチームの発表を受けて同じ出発点やゴールでも様々な表現が生まれることを体感できたのではないか。緊張しながらも協力して楽しく乗り切ることができ、グループ発表後は達成感のあるスッキリした表情と笑顔が印象的だった。

### ○補足

ワークは作文を書くときの順番になっており、自然と作文のコツを学ぶことのできる進行デザインとした。最後にそれを種明かしとして伝えたところ、子どもたちも「そうか！」と納得した表情を見せてくれた。

### 【全体を通して】

このワークショップは、作文の固定観念や苦手意識をなくし、ことばで自分を伝えることの大切さと、楽しさを知ってもらいたいという思いから企画した。ネガティブな印象の「作文」において「楽しさ」をプラスするために、お笑い芸人さんの力は大きく、子どもたちが前半から笑い声であふれ、発言が増え、それぞれが持つ言葉の表現に否定する人はなく安心安全な表現の場が創れたと感じている。  
また、「次もできそうだ。」「自分の思ったことを書けばいいのか!」と思う子を増やし応援したいという弊団体のねらいにも、子どもたちの反応の良さや前向きに取り組む様子からも手ごたえを感じた。あわせて、以下のアンケートからも当初の目的は達成できたと考えている。

### 【参加者アンケートより抜粋】

- ・自分の気持ちが言葉にできてスッキリしました
- ・作文では自分の気持ちを書いていいことがわかりました
- ・作文を難しいと思っていたけれど意外と簡単なことがわかった
- ・最後の発表では実際にアカデミー賞を取った気分になりました
- ・言葉はややこしいと思った
- ・言葉は工夫しがいがあると思った

	<ul style="list-style-type: none"><li>・おもしろかったし、楽しかった！いつもより書けた！</li><li>・作文用紙に書くことだけが作文じゃなくて、自分のことや意見などを書くことも作文だった</li><li>・作文を面倒だと思う時もあったりするけれど、やってみてすごく楽しかった</li><li>・いつもと違うところで発表できて楽しかった</li><li>・発想を話せてよかった</li><li>・みんなと作文を一緒に書くのが楽しかったです（みんなで協力できた）</li><li>・同じチームの人と話し合っているときに役割分担したりするのが楽しかった</li><li>・楽しく学ぶことで作文が苦手という思い込みがなくなった</li></ul>
--	--

## 収 支 決 算 書

## I 収入の部

項目	内容	金額
1 助成金	次世代育成基金活用事業助成金	500,000
2 その他収入	参加費500円×66名 団体負担	33,000 933
収入合計		533,933

## II 支出の部

項目	内容	金額			
		単価	数量	計	
① 助成対象経費				合計	533,933
(1) 旅費				小計	16,440
	①ファシリテーター交通費：自宅～浜田山往復実費（2講座分×3名）	5,880	1	5,880	
	②ファシリテーター交通費：自宅～高円寺往復実費（4講座分×3名）	10,560	1	10,560	
(2) 謝礼				小計	345,000
	①ファシリテーター謝礼（7,000円）×（6講座×3名）	7,000	18	126,000	
	②企画運営準備、打ち合わせ費（2,500円）×（6講座×5名）	2,500	30	75,000	
	③講師謝礼（15,000円×6講座）	15,000	6	90,000	
	④講師打ち合わせ費（3,000円×6講座）	3,000	6	18,000	
	⑤撮影謝礼（6000円×6講座、SNS、YOUTUBE動画用）	6,000	6	36,000	
(3) 印刷費				小計	80,478
	①参加者募集チラシ_印刷費（A4カラー・20,000部）	36,478	1	36,478	
	②参加者募集チラシ_デザイン費（A4両面）	44,000	1	44,000	
(4) 物品購入費				小計	76,615
	①ワークシート・資料印刷インク購入費	22,125	1	22,125	
	②ワークシート印刷用紙、ラベルシール、封筒購入代	5,490	1	5,490	
	③動画制作費（SNS、YOUTUBE用）	44,000	1	44,000	
	④アイキャッチデザイン費	5,000	1	5,000	
(5) 役務費				小計	3,700
	①私立学校郵送レターパック代（チラシ10校分）	370	10	3,700	
(6) 使用料及び賃借料				小計	11,700
	①施設利用料（杉並区各地域区民センター・打合せ6回分）	11,700	1	11,700	
(7) その他				小計	0
				0	
				0	
				0	
② 助成対象外経費（その他の経費）				合計	0
				0	
				0	
				0	
支出合計（総事業経費①+②）					533,933